治水経済調査マニュアル (案)
（平成17年4月1日付け国河計調第2号）

各種資産評価単価及びデフレーター

平成31年3月改正

国土交通省
水管理・国土保全局河川計画課
目次

第1表 都道府県別家屋1m²当たり評価額 ........................................... 1

第2表 1世帯当たり家庭用品評価額 ............................................. 3

第3表 産業分類別事業所従業者1人当たり償却資産評価額及び在庫資産評価額 ...... 4

第4表 農漁家1戸当たり償却資産評価額及び在庫資産評価額 ......................... 8

第5表 都道府県別水稲10アール当たり平年収量 .................................. 9

第6表 農作物価格 ................................................................. 10

第7表 産業分類別事業所従業者1人当たり付加価値額 .............................. 11

第8表 1日当たり一般世帯清掃労働対価評価額 .................................. 13

第9表 明治以降の国土交通省所管土木工事費指数 .................................. 14

第10表 治水工事費指数 .................................................................. 16

第11表 治水事業費指数 .................................................................. 18

第12表 総合物価指数（水害被害額デフレーター） ................................. 20
第1表 都道府県別家屋1m²当たり評価額

(千円／㎡)

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県名</th>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
<th>都道府県名</th>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>187.3</td>
<td>192.9</td>
<td>滋賀</td>
<td>186.2</td>
<td>192.2</td>
</tr>
<tr>
<td>青森</td>
<td>177.0</td>
<td>180.5</td>
<td>京都</td>
<td>208.5</td>
<td>215.4</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手</td>
<td>189.4</td>
<td>193.7</td>
<td>大阪</td>
<td>208.5</td>
<td>217.1</td>
</tr>
<tr>
<td>宮城</td>
<td>193.9</td>
<td>199.3</td>
<td>兵庫</td>
<td>195.6</td>
<td>202.6</td>
</tr>
<tr>
<td>秋田</td>
<td>177.8</td>
<td>181.0</td>
<td>奈良</td>
<td>191.2</td>
<td>196.9</td>
</tr>
<tr>
<td>山形</td>
<td>177.7</td>
<td>181.3</td>
<td>和歌山</td>
<td>181.5</td>
<td>187.0</td>
</tr>
<tr>
<td>福島</td>
<td>204.5</td>
<td>210.0</td>
<td>島根</td>
<td>177.3</td>
<td>180.5</td>
</tr>
<tr>
<td>茨城</td>
<td>181.5</td>
<td>186.6</td>
<td>岡山</td>
<td>183.8</td>
<td>188.7</td>
</tr>
<tr>
<td>櫻木</td>
<td>183.6</td>
<td>189.0</td>
<td>広島</td>
<td>197.6</td>
<td>204.1</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬</td>
<td>178.0</td>
<td>182.9</td>
<td>山口</td>
<td>197.8</td>
<td>203.7</td>
</tr>
<tr>
<td>埼玉</td>
<td>191.0</td>
<td>197.2</td>
<td>徳島</td>
<td>191.1</td>
<td>197.3</td>
</tr>
<tr>
<td>千葉</td>
<td>205.5</td>
<td>212.3</td>
<td>香川</td>
<td>181.4</td>
<td>186.5</td>
</tr>
<tr>
<td>東京</td>
<td>319.4</td>
<td>334.0</td>
<td>愛媛</td>
<td>173.4</td>
<td>178.4</td>
</tr>
<tr>
<td>神奈川</td>
<td>239.3</td>
<td>248.7</td>
<td>高知</td>
<td>205.7</td>
<td>211.6</td>
</tr>
<tr>
<td>新潟</td>
<td>171.3</td>
<td>174.9</td>
<td>福岡</td>
<td>182.9</td>
<td>189.2</td>
</tr>
<tr>
<td>富山</td>
<td>181.0</td>
<td>185.5</td>
<td>福岡</td>
<td>182.9</td>
<td>189.2</td>
</tr>
<tr>
<td>石川</td>
<td>192.3</td>
<td>197.1</td>
<td>佐賀</td>
<td>175.5</td>
<td>180.1</td>
</tr>
<tr>
<td>福井</td>
<td>217.4</td>
<td>224.2</td>
<td>長崎</td>
<td>178.8</td>
<td>183.7</td>
</tr>
<tr>
<td>山梨</td>
<td>195.7</td>
<td>201.0</td>
<td>熊本</td>
<td>174.5</td>
<td>179.2</td>
</tr>
<tr>
<td>長野</td>
<td>198.5</td>
<td>203.5</td>
<td>大分</td>
<td>180.5</td>
<td>185.9</td>
</tr>
<tr>
<td>岐阜</td>
<td>182.9</td>
<td>188.3</td>
<td>宮崎</td>
<td>164.6</td>
<td>169.4</td>
</tr>
<tr>
<td>静岡</td>
<td>192.0</td>
<td>198.2</td>
<td>鹿児島</td>
<td>163.0</td>
<td>167.2</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知</td>
<td>203.1</td>
<td>210.7</td>
<td>沖縄</td>
<td>230.9</td>
<td>242.9</td>
</tr>
<tr>
<td>三重</td>
<td>200.4</td>
<td>206.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
〈備考〉

1. 29年の評価額は、都道府県別に次の方法で求めた木造建物評価額と非木造建物評価額を、当該都道府県の木造建物総延床面積と非木造建物総延床面積の構成比で加重平均したものである。

\[
\text{木造（非木造）建物評価額} = \text{木造（非木造）建物㎡当たり建築費} \times \text{補正係数}
\]

注)
1) 木造（非木造）建築㎡当たり建築費は、「平成29年建築動態統計調査」（国土交通省）による。
2) 補正係数は、同統計調査における補正調査による単価補正率を、過去5年間にについて平均したものである。
3) 木造（非木造）家屋総延床面積は、「平成29年度固定資産の価格等の概要調書（家屋）」（総務省）による。

2. 30年の評価額は、平成29年の木造（非木造）建物㎡当たり建築費の全国値（名目）の対前年伸び率を、平成29年の都道府県別木造（非木造）建物評価額にそれぞれ乗じ、当該都道府県の木造建物総延床面積と非木造建物延床面積の構成比で加重平均して算出した。
第2表 1世帯当たり家庭用品評価額

（千円／世帯）

<table>
<thead>
<tr>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>13,085</td>
<td>13,148</td>
</tr>
</tbody>
</table>

〈備考〉

1. 自動車以外の評価額は、「火災保険ハンドブック 共通ルール編」（損保ジャパン日本興亜（株）2015年10月）中の「家財評価表」及び「平成27年 国勢調査」（総務省）をもとに算出した。
   1） 「火災保険ハンドブック 共通ルール編」（同上）から、世帯構成及び世帯主の年齢ごとの評価単価を設定する。
   2） 「平成27年 国勢調査」（同上）結果から、前述の世帯種別ごとの全体に対する割合を求め、加重平均により1世帯当たり家庭用品評価額を算出する。

2. 自動車の評価額は、「初度登録年別自動車保有車両数」及び「自動車保険車両標準価格表」等をもとに算出した。
   1） 「初度登録年別自動車保有車両数」（一財）自動車検査登録情報協会 平成29年10月、平成30年10月）より、車種別の保有台数を求める。
   2） 「自動車保険車両標準価格表」（損保ジャパン日本興亜（株）平成29年7月31日〜12月31日、平成30年7月1日〜12月31日）から車種別の平均価格を求め、保有台数で加重平均して、1台当たりの平均価格を求める。
   3） 「平成26年 全国消費実態調査」（総務省）より、世帯当たりの平均保有台数を求め、1台当たりの平均価格に乗じて、1世帯当たりの平均価格とする。

3. 平成28年3月改正より、消費税分を除いて算出している。
第3表 産業分類別事業所従業者1人当たり

償却資産評価額及び在庫資産評価額

(千円/人)

<table>
<thead>
<tr>
<th>産業分類</th>
<th>産業名</th>
<th>償却資産</th>
<th>在庫資産</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大分類</td>
<td>中分類</td>
<td>29年</td>
<td>30年</td>
</tr>
<tr>
<td>A</td>
<td>C</td>
<td>17,407</td>
<td>17,596</td>
</tr>
<tr>
<td>D</td>
<td>D</td>
<td>1,514</td>
<td>1,530</td>
</tr>
<tr>
<td>E</td>
<td>E</td>
<td>5,095</td>
<td>5,188</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>9</td>
<td>3,114</td>
<td>3,171</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>10</td>
<td>12,220</td>
<td>12,443</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>11</td>
<td>2,938</td>
<td>2,991</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>12</td>
<td>4,950</td>
<td>5,041</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>13</td>
<td>3,834</td>
<td>3,904</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>14</td>
<td>8,868</td>
<td>9,031</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>15</td>
<td>3,701</td>
<td>3,769</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>16</td>
<td>10,809</td>
<td>11,007</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>17</td>
<td>45,190</td>
<td>46,018</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>18</td>
<td>4,330</td>
<td>4,409</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>19</td>
<td>3,659</td>
<td>3,726</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>20</td>
<td>1,586</td>
<td>1,615</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>21</td>
<td>7,497</td>
<td>7,635</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>22</td>
<td>14,022</td>
<td>14,279</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>23</td>
<td>8,079</td>
<td>8,227</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>24</td>
<td>4,126</td>
<td>4,202</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>25</td>
<td>4,228</td>
<td>4,306</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>26</td>
<td>4,255</td>
<td>4,333</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>27</td>
<td>3,058</td>
<td>3,114</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>28</td>
<td>5,491</td>
<td>5,592</td>
</tr>
<tr>
<td>産業分類</td>
<td>産業名</td>
<td>債却資産 29年</td>
<td>債却資産 30年</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>--------------</td>
<td>--------------</td>
</tr>
<tr>
<td>大分類符号</td>
<td>中分類符号</td>
<td>4年期</td>
<td>5年期</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>電気機械器具製造業</td>
<td>3,116</td>
<td>3,173</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>情報通信機械器具製造業</td>
<td>2,541</td>
<td>2,587</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>輸送用機械器具製造業</td>
<td>4,489</td>
<td>4,571</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>その他の製造業</td>
<td>3,609</td>
<td>3,676</td>
</tr>
<tr>
<td>F</td>
<td>電気・ガス・熱供給・水道業</td>
<td>111,439</td>
<td>112,653</td>
</tr>
<tr>
<td>G</td>
<td>情報通信業</td>
<td>5,691</td>
<td>5,753</td>
</tr>
<tr>
<td>H</td>
<td>運輸業、郵便業</td>
<td>6,210</td>
<td>6,278</td>
</tr>
<tr>
<td>I</td>
<td>卸売業、小売業</td>
<td>2,376</td>
<td>2,402</td>
</tr>
<tr>
<td>50～55</td>
<td>卸売業</td>
<td>2,493</td>
<td>2,520</td>
</tr>
<tr>
<td>56</td>
<td>各種商品小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>57</td>
<td>織物・衣服・身の回り品小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>58</td>
<td>飲食料品小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>機械器具小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>60</td>
<td>その他の小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>61</td>
<td>無店舗小売業</td>
<td>2,297</td>
<td>2,322</td>
</tr>
<tr>
<td>J</td>
<td>金融業、保険業</td>
<td>926</td>
<td>936</td>
</tr>
<tr>
<td>K</td>
<td>不動産業、物品賃貸業</td>
<td>20,367</td>
<td>20,589</td>
</tr>
<tr>
<td>L</td>
<td>学術研究、専門・技術サービス業</td>
<td>1,737</td>
<td>1,756</td>
</tr>
<tr>
<td>M</td>
<td>宿泊業、飲食サービス業</td>
<td>1,523</td>
<td>1,540</td>
</tr>
<tr>
<td>N</td>
<td>生活関連サービス業、娯楽業</td>
<td>3,384</td>
<td>3,420</td>
</tr>
<tr>
<td>O</td>
<td>教育、学習支援業</td>
<td>1,232</td>
<td>1,245</td>
</tr>
<tr>
<td>P</td>
<td>医療、福祉</td>
<td>1,132</td>
<td>1,144</td>
</tr>
<tr>
<td>Q</td>
<td>複合サービス業</td>
<td>926</td>
<td>936</td>
</tr>
<tr>
<td>R</td>
<td>サービス業</td>
<td>926</td>
<td>936</td>
</tr>
<tr>
<td>S</td>
<td>公務</td>
<td>926</td>
<td>936</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注）産業分類は、日本標準産業分類（平成25年10月改定）による。
〈備考〉
1. 償却資産の評価額は、以下の方法により算出した。

(1) 製造業
    ① 「平成 29 年 工業統計表（産業別統計表）」（経済産業省）から産業中分類別に従業者 30 人以上の事業所の有形固定資産額を求め、同産業別の従業者数で除して 28 年の従業者 1 人当たり償却資産評価額を算出する。なお、平成 28 年 3 月改正より、消費税分を除いて算出している。
    ② 29(30)年の推計値の算出方法は、次のとおりである。
        a. 29(30)年の年末有形固定資産額は、前年の当該額に過去 5 年の年末持率の平均値を乗じた額に年の年間所得額を加算し、同年の年間除却額及び減価償却額を控除して算出する。
        b. 29(30)年の従業者数は、「労働力調査」（総務省 平成 30 年 10 月結果表）の就業者数と「平成 29 年 工業統計表（産業別統計表）」の従業者数から推計して算出する。
        c. a, b から 29(30)年の製造業合計の従業者 1 人当たり有形固定資産額を求め、伸び率を算出する。
        d. ①により得た値に当該伸び率を乗じ、さらに土地及び建物を除くための除去率を乗じて算出する。

(2) 製造業以外
    ① 「平成 29 年度 法人企業統計調査」（財務省）における産業大分類別の有形固定資産額（土地を除く）を同産業別の従業者数（役員数+従業者数）で除して 29 年の従業者 1 人当たり償却資産評価額を算出する。
    ② 30 年の推計値の算出方法は、次のとおりである。
        a. 30 年の有形固定資産額は、同年度の当該額の対前年度増加分（民間企業設備投資から推計）に年の有形固定資産額を加算して求める。
        b. a より求めた値を(1)② b に準じて推計した従業者数で除して 30 年の製造業以外合計の従業者 1 人当たり有形固定資産額を求め、伸び率を算出する。
        c. ①により得た値に延び率を乗じ、さらに建物を除くための除去率を乗じて算出する。
    ③ 金融・保険業、複合サービス事業及び公務の値は、サービス業の値と同一とした。
2. 在庫資産の評価額は、以下の方法により算出した。

(1) 製造業
① 「平成29年 工業統計表（産業別統計表）」（経済産業省）から産業中分類別に従業者30人以上の事業所の在庫資産額を求め、同産業別の従業者数で除して28年の従業者1人当たり在庫資産評価額を算出する。なお、平成28年3月改正より、消費税分を除いて算出している。
② 29(30)年の推計値の算出方法は、次のとおりである。
   a. 従業者30人以上の在庫資産額を「平成29年 工業統計表（産業別統計表）」から推計する。
   b. ①より求めた値を1.(1)②bに準じて推計した従業者数で除して29(30)年の製造業合計の従業者1人当たり在庫資産額を求め、伸び率を算出する。
   c. ①により得た値に当該伸び率を乗じて算出する。

(2) 製造業以外（卸売・小売業を除く）
① 「平成29年度 法人企業統計調査」（財務省）における産業大分類別の棚卸資産額を同産業別の従業者数（＝役員数+従業員数）で除して29年の従業者1人当たり在庫資産評価額を算出する。
② 30年の推計値の算出方法は、次のとおりである。
   a. 30年の棚卸資産総額は、同年の売上高（国民総支出及びこれに占める売上高の割合により推計）に棚卸資産総額の売上高に占める割合を乗じて得た額であり、同時点の従業者数（「労働力調査」により推計）で除して従業者1人当たり在庫資産評価額を求め、伸び率を算出する。
   b. ①により得た値に当該伸び率を乗じて算出する。
③ 金融・保険業、複合サービス事業及び公務の値は、サービス業の値と同一とした。

(3) 卸売・小売業
① 「平成28年 経済センサス-活動調査 卸売業・小売業に関する集計」（経済産業省）における産業中分類別の商品手持額を同産業別の従業者数で除して27年時点の従業者1人当たりの在庫資産額を算出する。なお、平成28年3月改正より、消費税分を除いて算出している。
② 29(30)年の推計値の算出方法は、次のとおりである。
   a. 29(30)年の商品手持額（民間企業設備投資から推計）を従業者数（「労働力調査報告」の就業者数と「平成29年度 法人企業統計調査」の従業者数から推計）で除して、従業者1人当たり商品手持額を求め、伸び率を算出する。
   b. ①により得た値に当該伸び率を乗じて算出する。
第4表 農漁家1戸当たり償却資産評価額及び在庫資産評価額

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>償却資産</td>
<td>1,881</td>
<td>1,872</td>
</tr>
<tr>
<td>在庫資産</td>
<td>678</td>
<td>714</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（備考）
1. 農漁家1戸当たり償却・在庫資産の評価額は、次の方法で算出した。

1)  \((29, 30\)年末の農家1戸当たり償却・在庫資産評価額) = \((29, 30\)年初の農家1戸当たり償却・在庫資産評価額) + \((29, 30\)年の名目年間増加額)

2)  \((29, 30\)年初の農家1戸当たり償却・在庫資産評価額) = \((28, 29\)年年末の農家1戸当たり償却・在庫資産評価額) + \((28, 29\)年の名目年間増加額)

2. 平成28年3月改正より、消費税分を除いて算出している。

注)
1) 28年初の償却資産評価額は、「農業経営統計調査 平成28年 経営形態別経営統計（個別経営）」（農林水産省）における、農家の財産の合計値を用いた。また、在庫資産評価額は、同統計の未処分農作物在庫額及び農業生産資材在庫額の合計値を用いた。

2) 各年末の値は、次年初の値と同じとした。
第5表 都道府県別水稲 10 アール当たり平年収量

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県名</th>
<th>29年</th>
<th>30年</th>
<th>都道府県名</th>
<th>29年</th>
<th>30年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>530</td>
<td>532</td>
<td>滋賀</td>
<td>506</td>
<td>506</td>
</tr>
<tr>
<td>青森</td>
<td>573</td>
<td>573</td>
<td>京都</td>
<td>502</td>
<td>501</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手</td>
<td>522</td>
<td>522</td>
<td>大阪</td>
<td>480</td>
<td>480</td>
</tr>
<tr>
<td>宮城</td>
<td>519</td>
<td>520</td>
<td>兵庫</td>
<td>489</td>
<td>490</td>
</tr>
<tr>
<td>秋田</td>
<td>556</td>
<td>554</td>
<td>奈良</td>
<td>500</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>山形</td>
<td>580</td>
<td>580</td>
<td>和歌山</td>
<td>484</td>
<td>484</td>
</tr>
<tr>
<td>福島</td>
<td>527</td>
<td>528</td>
<td>島根</td>
<td>504</td>
<td>504</td>
</tr>
<tr>
<td>茨城</td>
<td>515</td>
<td>515</td>
<td>島根</td>
<td>500</td>
<td>502</td>
</tr>
<tr>
<td>諫木</td>
<td>529</td>
<td>528</td>
<td>岡山</td>
<td>514</td>
<td>514</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬</td>
<td>479</td>
<td>479</td>
<td>広島</td>
<td>513</td>
<td>513</td>
</tr>
<tr>
<td>埼玉</td>
<td>475</td>
<td>476</td>
<td>山口</td>
<td>492</td>
<td>492</td>
</tr>
<tr>
<td>千葉</td>
<td>528</td>
<td>530</td>
<td>徳島</td>
<td>469</td>
<td>469</td>
</tr>
<tr>
<td>東京</td>
<td>404</td>
<td>404</td>
<td>香川</td>
<td>490</td>
<td>491</td>
</tr>
<tr>
<td>神奈川</td>
<td>478</td>
<td>479</td>
<td>愛媛</td>
<td>492</td>
<td>493</td>
</tr>
<tr>
<td>新潟</td>
<td>527</td>
<td>527</td>
<td>高知</td>
<td>454</td>
<td>454</td>
</tr>
<tr>
<td>富山</td>
<td>527</td>
<td>527</td>
<td>福岡</td>
<td>477</td>
<td>478</td>
</tr>
<tr>
<td>石川</td>
<td>507</td>
<td>506</td>
<td>佐賀</td>
<td>503</td>
<td>503</td>
</tr>
<tr>
<td>福井</td>
<td>500</td>
<td>500</td>
<td>長崎</td>
<td>463</td>
<td>463</td>
</tr>
<tr>
<td>山梨</td>
<td>533</td>
<td>533</td>
<td>熊本</td>
<td>497</td>
<td>497</td>
</tr>
<tr>
<td>長野</td>
<td>607</td>
<td>607</td>
<td>大分</td>
<td>480</td>
<td>480</td>
</tr>
<tr>
<td>岐阜</td>
<td>478</td>
<td>478</td>
<td>宮崎</td>
<td>482</td>
<td>482</td>
</tr>
<tr>
<td>静岡</td>
<td>513</td>
<td>513</td>
<td>鹿児島</td>
<td>469</td>
<td>469</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知</td>
<td>499</td>
<td>499</td>
<td>沖縄</td>
<td>305</td>
<td>306</td>
</tr>
<tr>
<td>三重</td>
<td>489</td>
<td>489</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

〈備考〉
農林水産省統計資料（「平成29年産水陸稲の収穫量」「平成30年産水陸稲の収穫量」）の値を使用した。
第6表 農作物価格

<table>
<thead>
<tr>
<th>農作物名</th>
<th>29年</th>
<th>30年</th>
<th>農作物名</th>
<th>29年</th>
<th>30年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>米</td>
<td>214</td>
<td>214</td>
<td>野豆</td>
<td>1,194</td>
<td>1,225</td>
</tr>
<tr>
<td>麦</td>
<td>49</td>
<td>49</td>
<td>菜科</td>
<td>778</td>
<td>808</td>
</tr>
<tr>
<td>大豆</td>
<td>117</td>
<td>123</td>
<td>大根</td>
<td>67</td>
<td>68</td>
</tr>
<tr>
<td>小豆</td>
<td>339</td>
<td>340</td>
<td>人参</td>
<td>85</td>
<td>87</td>
</tr>
<tr>
<td>落花生</td>
<td>661</td>
<td>768</td>
<td>菜</td>
<td>181</td>
<td>186</td>
</tr>
<tr>
<td>甘藷</td>
<td>169</td>
<td>175</td>
<td>里芋</td>
<td>292</td>
<td>315</td>
</tr>
<tr>
<td>馬鈴薯</td>
<td>84</td>
<td>90</td>
<td>りんご</td>
<td>221</td>
<td>216</td>
</tr>
<tr>
<td>きゅうり</td>
<td>232</td>
<td>234</td>
<td>果</td>
<td>226</td>
<td>237</td>
</tr>
<tr>
<td>なす</td>
<td>300</td>
<td>309</td>
<td>みかん</td>
<td>115</td>
<td>116</td>
</tr>
<tr>
<td>トマト</td>
<td>259</td>
<td>254</td>
<td>夏みかん</td>
<td>283</td>
<td>286</td>
</tr>
<tr>
<td>かぼちゃ</td>
<td>142</td>
<td>148</td>
<td>なし</td>
<td>210</td>
<td>227</td>
</tr>
<tr>
<td>すいか</td>
<td>168</td>
<td>175</td>
<td>かき</td>
<td>758</td>
<td>792</td>
</tr>
<tr>
<td>いちご</td>
<td>1,060</td>
<td>1,077</td>
<td>実</td>
<td>413</td>
<td>439</td>
</tr>
<tr>
<td>ビーマン</td>
<td>341</td>
<td>353</td>
<td>もも</td>
<td>785</td>
<td>834</td>
</tr>
<tr>
<td>メロン</td>
<td>649</td>
<td>661</td>
<td>茶</td>
<td>61</td>
<td>69</td>
</tr>
<tr>
<td>白菜</td>
<td>61</td>
<td>69</td>
<td>農</td>
<td>114</td>
<td>106</td>
</tr>
<tr>
<td>キャベツ</td>
<td>69</td>
<td>72</td>
<td>こんにゃく</td>
<td>2,026</td>
<td>2,022</td>
</tr>
<tr>
<td>レタス</td>
<td>129</td>
<td>129</td>
<td>作</td>
<td>815</td>
<td>826</td>
</tr>
<tr>
<td>ほうれん草</td>
<td>458</td>
<td>473</td>
<td>物</td>
<td>57</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>ねぎ</td>
<td>306</td>
<td>315</td>
<td>菊</td>
<td>76</td>
<td>77</td>
</tr>
<tr>
<td>たまねぎ</td>
<td>76</td>
<td>76</td>
<td>バラ</td>
<td>43</td>
<td>44</td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考
1. 29年の値は、「平成29年 農業物価統計」（農林水産省）による。
2. 30年の値は、過去5ヶ年の価格（「農業物価統計」より）の対前年伸び率を平均したものを29年の値に乗じて算出した。
3. 花卉（菊、バラ、カーネーション）の単価は、千円／千本である。
4. 平成28年3月改正より、消費税分を除いて算出している。
## 第7表 産業分類別事業所従業者1人当たり付加価値額

(円/人)

<table>
<thead>
<tr>
<th>産業分類</th>
<th>産業名</th>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大分類符号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>C</td>
<td>鉱業、採石業、砂利採取業</td>
<td>69,001</td>
<td>65,195</td>
</tr>
<tr>
<td>D</td>
<td>建設業</td>
<td>26,020</td>
<td>27,090</td>
</tr>
<tr>
<td>E</td>
<td>製造業</td>
<td>32,558</td>
<td>33,512</td>
</tr>
<tr>
<td>F</td>
<td>電気・ガス・熱供給・水道業</td>
<td>96,512</td>
<td>110,180</td>
</tr>
<tr>
<td>G</td>
<td>情報通信業</td>
<td>45,123</td>
<td>46,478</td>
</tr>
<tr>
<td>H</td>
<td>運輸業、郵便業</td>
<td>25,223</td>
<td>25,842</td>
</tr>
<tr>
<td>I</td>
<td>卸売業、小売業</td>
<td>27,932</td>
<td>28,344</td>
</tr>
<tr>
<td>J</td>
<td>金融業、保険業</td>
<td>21,337</td>
<td>21,747</td>
</tr>
<tr>
<td>K</td>
<td>不動産業、物品質販売業</td>
<td>48,898</td>
<td>50,635</td>
</tr>
<tr>
<td>L</td>
<td>学術研究、専門・技術サービス業</td>
<td>34,743</td>
<td>36,258</td>
</tr>
<tr>
<td>M</td>
<td>宿泊業、飲食サービス業</td>
<td>22,967</td>
<td>23,855</td>
</tr>
<tr>
<td>N</td>
<td>生活関連サービス業、娯楽業</td>
<td>21,221</td>
<td>20,773</td>
</tr>
<tr>
<td>O</td>
<td>教育、学習支援業</td>
<td>27,431</td>
<td>28,022</td>
</tr>
<tr>
<td>P</td>
<td>医療、福祉</td>
<td>17,906</td>
<td>18,777</td>
</tr>
<tr>
<td>Q</td>
<td>複合サービス業</td>
<td>20,859</td>
<td>21,126</td>
</tr>
<tr>
<td>R</td>
<td>サービス業</td>
<td>22,020</td>
<td>22,398</td>
</tr>
<tr>
<td>S</td>
<td>公務</td>
<td>22,020</td>
<td>22,398</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注）産業分類は、日本標準産業分類（平成25年10月改定）による。
アルバトロ（备考）

1. 平成29年評価額は、以下の方法により算出した。
   ① 「平成29年度法人企業統計調査」（財務省）から産業分類別の従業者1人当たり付加価値額（年間）を求める。
   ② 「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）から産業分類別の年間労働日数を求める。
   ③ ①を②で除して従業者1人1日当たり付加価値額とする。

2. 平成30年評価額は、以下の方法により算出した。
   ① 平成25年〜29年について、付加価値額の対前年伸び率を算出する。
   ② ①の5ヶ年平均値を平成29年の付加価値額に乗じて平成30年値とする。
第8表 1日当たり一般世帯清掃労働対価評価額

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>29年評価額</th>
<th>30年評価額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>10,847</td>
<td>10,945</td>
</tr>
</tbody>
</table>

〈備考〉

1. 平成29年の評価額は、「賃金構造基本統計調査」（厚生労働省）の港湾荷役作業員（男）とビル清掃員（男）の値をもとに以下の方法により算出した。

① 所定内給与額を所定内実労働時間で除して、1時間当たりの給与額を算出する。
② ①の1時間当たりの給与額に8時間を乗じて、1日当たりの給与額を算出する。
③ 港湾荷役作業員（男）とビル清掃員（男）の1日当たり給与額に対し、1:2の重みをつけて加重平均を行い、29年評価額とする。

2. 平成30年評価額は、以下の方法により算出した。

① 平成25年～29年について、1日当たり一般世帯清掃労働対価評価額の対前年伸び率を算出する。
② ①の5ヶ年平均値を平成29年の1日当たり一般世帯清掃労働対価評価額に乗じて平成30年値とする。
第9表 明治以降の国土交通省所管土木工事費指数

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>治水事業</th>
<th>道路事業</th>
<th>土木総合</th>
<th>年度</th>
<th>治水事業</th>
<th>道路事業</th>
<th>土木総合</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>明治36</td>
<td>40.3</td>
<td>47.8</td>
<td>44.4</td>
<td>昭和7</td>
<td>97.7</td>
<td>98.2</td>
<td>98.1</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>39.2</td>
<td>47.2</td>
<td>43.4</td>
<td>8</td>
<td>99.4</td>
<td>100.4</td>
<td>100.1</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>41.3</td>
<td>46.8</td>
<td>44.3</td>
<td>9</td>
<td>99.4</td>
<td>100.0</td>
<td>99.8</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>44.3</td>
<td>50.3</td>
<td>47.6</td>
<td>10</td>
<td>100.0</td>
<td>99.7</td>
<td>99.8</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>50.0</td>
<td>61.3</td>
<td>59.0</td>
<td>11</td>
<td>100.6</td>
<td>100.4</td>
<td>100.5</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>53.4</td>
<td>59.9</td>
<td>56.9</td>
<td>12</td>
<td>119.1</td>
<td>122.9</td>
<td>121.6</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>52.2</td>
<td>55.1</td>
<td>53.9</td>
<td>13</td>
<td>132.4</td>
<td>136.1</td>
<td>134.9</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>52.1</td>
<td>54.2</td>
<td>53.3</td>
<td>14</td>
<td>155.9</td>
<td>156.1</td>
<td>156.0</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>55.1</td>
<td>56.4</td>
<td>55.7</td>
<td>15</td>
<td>179.4</td>
<td>177.5</td>
<td>178.3</td>
</tr>
<tr>
<td>大正1</td>
<td>58.3</td>
<td>59.4</td>
<td>59.8</td>
<td>16</td>
<td>199.4</td>
<td>193.1</td>
<td>195.4</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>58.4</td>
<td>61.6</td>
<td>60.1</td>
<td>17</td>
<td>206.9</td>
<td>200.5</td>
<td>203.3</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>58.1</td>
<td>56.3</td>
<td>57.2</td>
<td>18</td>
<td>238.5</td>
<td>230.9</td>
<td>234.1</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>55.8</td>
<td>60.2</td>
<td>57.9</td>
<td>19</td>
<td>326.9</td>
<td>316.4</td>
<td>321.0</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>58.5</td>
<td>72.1</td>
<td>65.4</td>
<td>20</td>
<td>1,219</td>
<td>1,009</td>
<td>1,078</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>71.7</td>
<td>100.3</td>
<td>86.9</td>
<td>21</td>
<td>2,479</td>
<td>2,011</td>
<td>2,180</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>97.0</td>
<td>125.3</td>
<td>111.2</td>
<td>22</td>
<td>5,860</td>
<td>5,118</td>
<td>5,563</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>141.5</td>
<td>140.4</td>
<td>140.9</td>
<td>23</td>
<td>1,630</td>
<td>11,700</td>
<td>11,660</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>188.6</td>
<td>190.3</td>
<td>189.5</td>
<td>24</td>
<td>6,120</td>
<td>18,940</td>
<td>17,670</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>156.7</td>
<td>157.0</td>
<td>156.9</td>
<td>25</td>
<td>18,570</td>
<td>22,730</td>
<td>20,320</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>168.0</td>
<td>167.2</td>
<td>167.5</td>
<td>26</td>
<td>23,960</td>
<td>26,880</td>
<td>25,130</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>168.5</td>
<td>166.3</td>
<td>167.1</td>
<td>27</td>
<td>26,960</td>
<td>29,450</td>
<td>27,920</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>160.2</td>
<td>161.8</td>
<td>161.3</td>
<td>28</td>
<td>29,310</td>
<td>31,550</td>
<td>30,070</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>152.7</td>
<td>152.8</td>
<td>152.8</td>
<td>29</td>
<td>29,740</td>
<td>31,550</td>
<td>30,280</td>
</tr>
<tr>
<td>昭和1</td>
<td>147.4</td>
<td>148.5</td>
<td>148.2</td>
<td>30</td>
<td>29,520</td>
<td>31,090</td>
<td>29,640</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>140.9</td>
<td>140.8</td>
<td>140.8</td>
<td>31</td>
<td>32,090</td>
<td>33,890</td>
<td>32,430</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>139.7</td>
<td>139.9</td>
<td>139.9</td>
<td>32</td>
<td>34,010</td>
<td>35,760</td>
<td>34,370</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>135.5</td>
<td>134.6</td>
<td>134.8</td>
<td>33</td>
<td>33,590</td>
<td>34,360</td>
<td>33,720</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>109.9</td>
<td>108.8</td>
<td>108.0</td>
<td>34</td>
<td>35,080</td>
<td>36,230</td>
<td>34,800</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>99.1</td>
<td>98.2</td>
<td>98.4</td>
<td>35</td>
<td>37,220</td>
<td>38,330</td>
<td>36,940</td>
</tr>
</tbody>
</table>
年度 | 治水事業 | 道路事業 | 土木総合
--- | --- | --- | ---
昭和 36 | 41,500 | 42,310 | 41,020
37 | 43,640 | 44,180 | 42,960
38 | 45,140 | 45,530 | 44,030
39 | 47,060 | 47,920 | 47,040
40 | 48,780 | 48,420 | 48,780
41 | 51,980 | 51,420 | 51,980
42 | 55,620 | 56,100 | 55,620
43 | 57,760 | 57,270 | 57,760
44 | 61,610 | 60,540 | 61,610
45 | 68,030 | 65,060 | 68,030
46 | 72,310 | 69,160 | 72,310
47 | 91,350 | 87,200 | 91,350
48 | 112,530 | 109,540 | 112,530
49 | 114,670 | 111,040 | 114,670
50 | 123,010 | 118,990 | 123,010
51 | 130,710 | 126,080 | 130,710
52 | 141,830 | 135,320 | 141,830
53 | 155,310 | 149,920 | 155,310
54 | 170,930 | 168,180 | 170,930
55 | 173,280 | 171,830 | 173,280
56 | 174,350 | 170,760 | 174,350
57 | 173,070 | 169,900 | 173,070
58 | 175,640 | 172,900 | 175,640
59 | 171,780 | 170,760 | 171,780
60 | 172,430 | 170,110 | 172,430
61 | 176,060 | 172,690 | 176,060
62 | 180,560 | 176,550 | 180,560
63 | 190,400 | 185,580 | 190,400

| 年度 | 治水事業 | 道路事業 | 土木総合
--- | --- | --- | ---
平成 2 | 197,880 | 206,860 | 197,880
3 | 203,450 | 212,700 | 203,450
4 | 206,660 | 215,510 | 206,660
5 | 207,720 | 217,140 | 207,720
6 | 208,790 | 218,080 | 208,790
7 | 209,720 | 219,950 | 209,720
8 | 210,720 | 220,810 | 210,720
9 | 210,720 | 221,950 | 210,720
10 | 210,720 | 222,000 | 210,720
11 | 210,720 | 222,100 | 210,720
12 | 210,720 | 222,200 | 210,720
13 | 210,720 | 222,300 | 210,720
14 | 210,720 | 222,400 | 210,720
15 | 210,720 | 222,500 | 210,720
16 | 210,720 | 222,600 | 210,720
17 | 210,720 | 222,700 | 210,720
18 | 210,720 | 222,800 | 210,720
19 | 210,720 | 222,900 | 210,720
20 | 210,720 | 222,100 | 210,720
21 | 210,720 | 222,200 | 210,720
22 | 210,720 | 222,300 | 210,720
23 | 210,720 | 222,400 | 210,720
24 | 210,720 | 222,500 | 210,720
25 | 210,720 | 222,600 | 210,720
26 | 210,720 | 222,700 | 210,720
27 | 210,720 | 222,800 | 210,720
28 | 210,720 | 222,900 | 210,720
29 | 210,720 | 222,100 | 210,720
30 | 210,720 | 222,200 | 210,720
31 | 210,720 | 222,300 | 210,720
32 | 210,720 | 222,400 | 210,720
33 | 210,720 | 222,500 | 210,720
34 | 210,720 | 222,600 | 210,720
35 | 210,720 | 222,700 | 210,720
36 | 210,720 | 222,800 | 210,720
37 | 210,720 | 222,900 | 210,720
38 | 210,720 | 222,100 | 210,720
39 | 210,720 | 222,200 | 210,720
40 | 210,720 | 222,300 | 210,720
41 | 210,720 | 222,400 | 210,720
42 | 210,720 | 222,500 | 210,720
43 | 210,720 | 222,600 | 210,720
44 | 210,720 | 222,700 | 210,720
45 | 210,720 | 222,800 | 210,720
46 | 210,720 | 222,900 | 210,720
47 | 210,720 | 222,100 | 210,720
48 | 210,720 | 222,200 | 210,720
49 | 210,720 | 222,300 | 210,720
50 | 210,720 | 222,400 | 210,720
51 | 210,720 | 222,500 | 210,720
52 | 210,720 | 222,600 | 210,720
53 | 210,720 | 222,700 | 210,720
54 | 210,720 | 222,800 | 210,720
55 | 210,720 | 222,900 | 210,720
56 | 210,720 | 222,100 | 210,720
57 | 210,720 | 222,200 | 210,720
58 | 210,720 | 222,300 | 210,720
59 | 210,720 | 222,400 | 210,720
60 | 210,720 | 222,500 | 210,720
61 | 210,720 | 222,600 | 210,720
62 | 210,720 | 222,700 | 210,720
63 | 210,720 | 222,800 | 210,720

〈備考〉
1. 国土交通省 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室 資料により算出した。
2. 平成 28 年度及び 29 年度は暫定値。
第10表 治水工事費指数

国土交通省所管 土木総合（除く災害復旧）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>治水総合</th>
<th>河川</th>
<th>河川総合開発</th>
<th>砂防</th>
<th>海岸</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>昭和26</td>
<td>11.7</td>
<td>11.2</td>
<td>11.3</td>
<td>11.9</td>
<td>9.8</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>13.0</td>
<td>12.6</td>
<td>12.6</td>
<td>13.3</td>
<td>11.3</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>14.0</td>
<td>13.7</td>
<td>13.8</td>
<td>14.2</td>
<td>12.3</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>14.1</td>
<td>13.9</td>
<td>14.0</td>
<td>14.4</td>
<td>12.7</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>13.8</td>
<td>13.8</td>
<td>14.2</td>
<td>14.5</td>
<td>11.5</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>15.1</td>
<td>15.0</td>
<td>15.5</td>
<td>15.6</td>
<td>12.7</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>16.0</td>
<td>15.9</td>
<td>16.4</td>
<td>16.3</td>
<td>13.8</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>15.7</td>
<td>15.7</td>
<td>16.2</td>
<td>16.2</td>
<td>13.7</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>16.2</td>
<td>16.4</td>
<td>17.0</td>
<td>16.7</td>
<td>14.1</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>17.2</td>
<td>17.4</td>
<td>18.2</td>
<td>17.6</td>
<td>15.2</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>19.1</td>
<td>19.4</td>
<td>20.1</td>
<td>19.4</td>
<td>17.4</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>20.0</td>
<td>20.4</td>
<td>21.1</td>
<td>20.3</td>
<td>18.6</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>20.5</td>
<td>21.1</td>
<td>21.8</td>
<td>21.6</td>
<td>19.2</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>21.2</td>
<td>22.0</td>
<td>22.8</td>
<td>23.1</td>
<td>20.2</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>21.9</td>
<td>22.8</td>
<td>23.4</td>
<td>23.6</td>
<td>21.0</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>23.6</td>
<td>24.3</td>
<td>25.0</td>
<td>25.3</td>
<td>22.8</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>25.4</td>
<td>26.0</td>
<td>26.5</td>
<td>26.7</td>
<td>25.4</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>26.1</td>
<td>27.0</td>
<td>27.4</td>
<td>27.4</td>
<td>26.5</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>27.7</td>
<td>28.8</td>
<td>29.1</td>
<td>29.5</td>
<td>28.1</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>29.4</td>
<td>30.9</td>
<td>31.2</td>
<td>31.9</td>
<td>30.3</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>30.3</td>
<td>31.8</td>
<td>31.9</td>
<td>32.5</td>
<td>31.5</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>32.2</td>
<td>33.8</td>
<td>33.8</td>
<td>34.9</td>
<td>33.5</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>40.6</td>
<td>42.7</td>
<td>42.7</td>
<td>44.0</td>
<td>42.2</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>51.0</td>
<td>52.6</td>
<td>52.5</td>
<td>54.2</td>
<td>52.1</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>51.7</td>
<td>53.6</td>
<td>53.3</td>
<td>55.3</td>
<td>53.2</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>55.4</td>
<td>57.5</td>
<td>57.4</td>
<td>59.4</td>
<td>56.8</td>
</tr>
<tr>
<td>52</td>
<td>58.7</td>
<td>61.1</td>
<td>60.7</td>
<td>62.4</td>
<td>61.3</td>
</tr>
<tr>
<td>53</td>
<td>63.0</td>
<td>66.3</td>
<td>65.9</td>
<td>67.0</td>
<td>67.5</td>
</tr>
<tr>
<td>54</td>
<td>69.8</td>
<td>72.6</td>
<td>72.0</td>
<td>73.4</td>
<td>74.1</td>
</tr>
<tr>
<td>55</td>
<td>78.3</td>
<td>79.9</td>
<td>78.8</td>
<td>80.8</td>
<td>82.5</td>
</tr>
<tr>
<td>56</td>
<td>80.0</td>
<td>81.0</td>
<td>79.9</td>
<td>82.1</td>
<td>83.2</td>
</tr>
<tr>
<td>57</td>
<td>79.5</td>
<td>81.5</td>
<td>80.5</td>
<td>82.6</td>
<td>83.7</td>
</tr>
<tr>
<td>58</td>
<td>79.1</td>
<td>80.9</td>
<td>79.9</td>
<td>82.1</td>
<td>83.3</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>80.5</td>
<td>82.1</td>
<td>81.1</td>
<td>83.5</td>
<td>84.3</td>
</tr>
<tr>
<td>昭和60</td>
<td>79.5</td>
<td>80.3</td>
<td>79.6</td>
<td>82.3</td>
<td>80.4</td>
</tr>
<tr>
<td>61</td>
<td>79.2</td>
<td>80.6</td>
<td>79.7</td>
<td>82.8</td>
<td>81.4</td>
</tr>
<tr>
<td>62</td>
<td>80.4</td>
<td>82.3</td>
<td>81.3</td>
<td>84.3</td>
<td>83.1</td>
</tr>
<tr>
<td>63</td>
<td>82.2</td>
<td>84.4</td>
<td>83.4</td>
<td>86.7</td>
<td>85.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>
〈備考〉
1. 国土交通省 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室 資料による。
2. 平成 28 年度及び 29 年度は暫定値。
3. 治水工事費は、工事費、附帯工事費、測量設計費、船舶及び機械器具費、営繕費から構成されている。
4. 河川総合開発には、水資源機構分が含まれている。 (昭和 26 年度から昭和 37 年度は直轄事業分のみ。)

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>国土交通省所管土木総合（除く災害復旧）</th>
<th>治水総合</th>
<th>河川</th>
<th>河川総合開発</th>
<th>砂防</th>
<th>海岸</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成1</td>
<td>86.4</td>
<td>89.0</td>
<td>88.1</td>
<td>91.6</td>
<td>88.9</td>
<td>87.0</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>89.6</td>
<td>92.5</td>
<td>91.6</td>
<td>95.3</td>
<td>92.4</td>
<td>90.2</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>92.1</td>
<td>95.1</td>
<td>94.2</td>
<td>97.9</td>
<td>94.8</td>
<td>93.0</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>93.5</td>
<td>96.6</td>
<td>95.7</td>
<td>99.3</td>
<td>96.1</td>
<td>94.4</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>93.7</td>
<td>96.8</td>
<td>96.0</td>
<td>99.5</td>
<td>96.4</td>
<td>94.6</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>94.1</td>
<td>97.1</td>
<td>96.4</td>
<td>99.8</td>
<td>96.8</td>
<td>96.1</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>94.6</td>
<td>97.6</td>
<td>96.8</td>
<td>100.3</td>
<td>97.3</td>
<td>96.5</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>94.6</td>
<td>97.6</td>
<td>96.9</td>
<td>100.3</td>
<td>97.6</td>
<td>96.3</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>95.4</td>
<td>98.5</td>
<td>97.6</td>
<td>101.2</td>
<td>98.6</td>
<td>97.1</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>93.7</td>
<td>96.9</td>
<td>96.0</td>
<td>99.6</td>
<td>97.1</td>
<td>95.5</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>92.8</td>
<td>96.0</td>
<td>95.1</td>
<td>98.6</td>
<td>96.3</td>
<td>94.3</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>93.2</td>
<td>96.2</td>
<td>95.3</td>
<td>98.7</td>
<td>96.5</td>
<td>94.4</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>91.4</td>
<td>94.2</td>
<td>93.4</td>
<td>96.3</td>
<td>94.4</td>
<td>92.8</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>90.5</td>
<td>92.9</td>
<td>92.2</td>
<td>94.8</td>
<td>93.0</td>
<td>91.6</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>91.0</td>
<td>93.3</td>
<td>92.7</td>
<td>94.9</td>
<td>93.4</td>
<td>92.3</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>92.0</td>
<td>93.9</td>
<td>93.7</td>
<td>95.1</td>
<td>93.9</td>
<td>92.9</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>93.4</td>
<td>95.0</td>
<td>94.7</td>
<td>95.8</td>
<td>95.0</td>
<td>94.0</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>95.0</td>
<td>96.2</td>
<td>96.0</td>
<td>97.2</td>
<td>96.1</td>
<td>95.1</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>97.2</td>
<td>98.0</td>
<td>97.9</td>
<td>98.8</td>
<td>97.5</td>
<td>97.1</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>100.9</td>
<td>101.1</td>
<td>101.3</td>
<td>101.5</td>
<td>100.2</td>
<td>100.2</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>97.9</td>
<td>98.2</td>
<td>98.0</td>
<td>98.4</td>
<td>98.2</td>
<td>98.2</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>98.2</td>
<td>98.3</td>
<td>98.1</td>
<td>98.5</td>
<td>98.4</td>
<td>98.6</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>99.6</td>
<td>99.5</td>
<td>99.5</td>
<td>99.3</td>
<td>99.9</td>
<td>99.5</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>101.8</td>
<td>101.8</td>
<td>101.7</td>
<td>101.4</td>
<td>102.4</td>
<td>102.1</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>105.3</td>
<td>105.5</td>
<td>105.2</td>
<td>105.3</td>
<td>106.6</td>
<td>106.4</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>105.6</td>
<td>106.1</td>
<td>105.6</td>
<td>105.6</td>
<td>107.9</td>
<td>107.0</td>
</tr>
<tr>
<td>(暫)28</td>
<td>106.0</td>
<td>106.8</td>
<td>106.3</td>
<td>109.1</td>
<td>107.8</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(暫)29</td>
<td>108.2</td>
<td>109.2</td>
<td>108.7</td>
<td>111.6</td>
<td>110.5</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
第11表　治水事業費指数

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>治水総合</th>
<th>河川</th>
<th>河川総合開発</th>
<th>砂防</th>
<th>海岸</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>昭和35</td>
<td>16.9</td>
<td>16.6</td>
<td>18.1</td>
<td>16.3</td>
<td>18.5</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>19.1</td>
<td>18.8</td>
<td>19.7</td>
<td>18.7</td>
<td>20.7</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>20.2</td>
<td>19.9</td>
<td>20.7</td>
<td>19.9</td>
<td>21.4</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>20.8</td>
<td>20.9</td>
<td>21.5</td>
<td>20.6</td>
<td>22.2</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>22.1</td>
<td>22.0</td>
<td>22.9</td>
<td>21.7</td>
<td>23.1</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>23.1</td>
<td>23.1</td>
<td>23.8</td>
<td>22.6</td>
<td>23.7</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>24.8</td>
<td>24.7</td>
<td>25.5</td>
<td>24.5</td>
<td>25.8</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>26.8</td>
<td>26.6</td>
<td>27.4</td>
<td>27.2</td>
<td>27.7</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>28.0</td>
<td>28.0</td>
<td>28.8</td>
<td>28.4</td>
<td>28.5</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>30.1</td>
<td>30.2</td>
<td>30.5</td>
<td>30.2</td>
<td>30.5</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>32.6</td>
<td>32.7</td>
<td>33.5</td>
<td>32.5</td>
<td>32.4</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>34.1</td>
<td>34.0</td>
<td>34.7</td>
<td>33.8</td>
<td>33.1</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>36.5</td>
<td>36.5</td>
<td>37.2</td>
<td>36.0</td>
<td>35.3</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>46.0</td>
<td>46.1</td>
<td>46.6</td>
<td>45.5</td>
<td>45.0</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>56.0</td>
<td>55.8</td>
<td>57.2</td>
<td>55.9</td>
<td>54.4</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>57.1</td>
<td>56.7</td>
<td>58.8</td>
<td>57.1</td>
<td>54.9</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>61.1</td>
<td>60.8</td>
<td>62.8</td>
<td>61.0</td>
<td>58.2</td>
</tr>
<tr>
<td>52</td>
<td>64.8</td>
<td>64.2</td>
<td>66.2</td>
<td>65.7</td>
<td>62.8</td>
</tr>
<tr>
<td>53</td>
<td>69.6</td>
<td>69.1</td>
<td>70.6</td>
<td>72.0</td>
<td>69.4</td>
</tr>
<tr>
<td>54</td>
<td>76.1</td>
<td>75.2</td>
<td>76.8</td>
<td>78.9</td>
<td>76.0</td>
</tr>
<tr>
<td>55</td>
<td>83.7</td>
<td>82.2</td>
<td>84.9</td>
<td>87.7</td>
<td>83.8</td>
</tr>
<tr>
<td>56</td>
<td>85.2</td>
<td>84.0</td>
<td>86.3</td>
<td>88.5</td>
<td>84.3</td>
</tr>
<tr>
<td>57</td>
<td>86.0</td>
<td>85.1</td>
<td>87.1</td>
<td>89.2</td>
<td>84.4</td>
</tr>
<tr>
<td>58</td>
<td>85.7</td>
<td>84.9</td>
<td>86.6</td>
<td>88.8</td>
<td>84.0</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>86.9</td>
<td>86.2</td>
<td>87.9</td>
<td>89.7</td>
<td>84.9</td>
</tr>
<tr>
<td>60</td>
<td>85.5</td>
<td>85.3</td>
<td>86.8</td>
<td>85.8</td>
<td>81.0</td>
</tr>
<tr>
<td>61</td>
<td>85.9</td>
<td>85.7</td>
<td>87.1</td>
<td>86.8</td>
<td>81.4</td>
</tr>
<tr>
<td>62</td>
<td>87.8</td>
<td>87.8</td>
<td>88.2</td>
<td>88.4</td>
<td>83.0</td>
</tr>
<tr>
<td>63</td>
<td>90.0</td>
<td>90.3</td>
<td>90.6</td>
<td>90.5</td>
<td>84.8</td>
</tr>
<tr>
<td>平成1</td>
<td>94.7</td>
<td>95.0</td>
<td>95.2</td>
<td>94.6</td>
<td>88.7</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>98.5</td>
<td>98.9</td>
<td>99.0</td>
<td>98.1</td>
<td>92.0</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>101.0</td>
<td>101.3</td>
<td>101.6</td>
<td>100.6</td>
<td>94.8</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>101.8</td>
<td>102.2</td>
<td>102.7</td>
<td>101.8</td>
<td>96.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>
平成23年年度治水総合事業費及び河川総合開発事業費等の原単位指数（平成23年度＝100）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>治水総合</th>
<th>河川総合開発</th>
<th>砂防</th>
<th>海岸</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成5</td>
<td>101.7</td>
<td>101.9</td>
<td>102.8</td>
<td>101.9</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>101.8</td>
<td>102.0</td>
<td>102.7</td>
<td>102.1</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>101.6</td>
<td>101.6</td>
<td>102.7</td>
<td>102.3</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>101.3</td>
<td>101.2</td>
<td>102.4</td>
<td>102.2</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>101.9</td>
<td>101.7</td>
<td>103.1</td>
<td>103.1</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>100.0</td>
<td>99.6</td>
<td>101.4</td>
<td>101.3</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>98.9</td>
<td>98.6</td>
<td>100.1</td>
<td>100.4</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>99.0</td>
<td>98.4</td>
<td>100.5</td>
<td>98.6</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>96.7</td>
<td>96.0</td>
<td>98.1</td>
<td>96.2</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>95.2</td>
<td>94.7</td>
<td>96.2</td>
<td>94.5</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>95.2</td>
<td>94.7</td>
<td>95.9</td>
<td>94.9</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>95.3</td>
<td>95.0</td>
<td>96.1</td>
<td>95.0</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>96.0</td>
<td>95.5</td>
<td>96.5</td>
<td>95.7</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>96.9</td>
<td>96.6</td>
<td>97.7</td>
<td>96.7</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>98.5</td>
<td>98.1</td>
<td>98.9</td>
<td>97.7</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>101.2</td>
<td>101.1</td>
<td>101.2</td>
<td>100.5</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>98.3</td>
<td>97.9</td>
<td>97.9</td>
<td>98.4</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>98.4</td>
<td>98.0</td>
<td>98.3</td>
<td>98.5</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
<td>100.0</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>99.5</td>
<td>99.4</td>
<td>99.2</td>
<td>99.8</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>101.7</td>
<td>101.6</td>
<td>101.3</td>
<td>102.4</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>105.2</td>
<td>104.9</td>
<td>105.2</td>
<td>106.5</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>105.8</td>
<td>105.8</td>
<td>105.6</td>
<td>107.6</td>
</tr>
<tr>
<td>(暫)28</td>
<td>106.4</td>
<td>105.8</td>
<td>106.0</td>
<td>108.9</td>
</tr>
<tr>
<td>(暫)29</td>
<td>108.7</td>
<td>108.2</td>
<td>108.3</td>
<td>111.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考
1. 国土交通省 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室 資料等により算出した。
2. 平成28年度及び29年度は暫定値。
3. 国土交通省所管土木総合の値は、平成22年2月改正より本表から除いている。
4. 治水事業費は、工事費、附帯工事費、測量設計費、船舶及機械器具費、営繕費、用地費及補償費から構成されている。
5. 河川総合開発には、水資源機構分が含まれている。（昭和35年度から昭和37年度は直轄事業分のみ。）
第12表 総合物価指数（水害被害額デフレーター）

（指数：昭和3〜7年＝100、倍率：平成23年＝1.000）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年</th>
<th>指数</th>
<th>倍率</th>
<th>年</th>
<th>指数</th>
<th>倍率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>明治11</td>
<td>35.9</td>
<td>3,876.6</td>
<td>昭和1</td>
<td>130.7</td>
<td>1,064.8</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>41.5</td>
<td>3,353.5</td>
<td>2</td>
<td>124.1</td>
<td>1,121.4</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>49.5</td>
<td>2,811.5</td>
<td>3</td>
<td>124.8</td>
<td>1,155.1</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>54.7</td>
<td>2,544.2</td>
<td>4</td>
<td>121.3</td>
<td>1,147.3</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>49.9</td>
<td>2,789.0</td>
<td>5</td>
<td>91.2</td>
<td>1,526.0</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>39.0</td>
<td>3,658.5</td>
<td>6</td>
<td>77.1</td>
<td>1,805.1</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>32.5</td>
<td>4,282.2</td>
<td>7</td>
<td>85.5</td>
<td>1,627.7</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>34.1</td>
<td>4,081.2</td>
<td>8</td>
<td>98.0</td>
<td>1,420.1</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>31.3</td>
<td>4,446.3</td>
<td>9</td>
<td>100.0</td>
<td>1,391.7</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>32.2</td>
<td>4,322.0</td>
<td>10</td>
<td>102.5</td>
<td>1,375.3</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>32.5</td>
<td>4,282.2</td>
<td>11</td>
<td>106.8</td>
<td>1,319.9</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>35.4</td>
<td>3,931.4</td>
<td>12</td>
<td>129.7</td>
<td>1,086.9</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>40.6</td>
<td>3,427.8</td>
<td>13</td>
<td>136.8</td>
<td>1,030.5</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>38.0</td>
<td>3,662.4</td>
<td>14</td>
<td>155.3</td>
<td>907.7</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>39.0</td>
<td>3,568.5</td>
<td>15</td>
<td>182.3</td>
<td>773.3</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>36.2</td>
<td>3,844.5</td>
<td>16</td>
<td>196.7</td>
<td>716.7</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>38.2</td>
<td>3,643.2</td>
<td>17</td>
<td>251.9</td>
<td>559.6</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>41.0</td>
<td>3,394.4</td>
<td>18</td>
<td>290.5</td>
<td>485.3</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>44.3</td>
<td>3,141.5</td>
<td>19</td>
<td>357.1</td>
<td>394.8</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>49.0</td>
<td>2,840.2</td>
<td>20</td>
<td>1,949.2</td>
<td>1,949.2</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>51.6</td>
<td>2,697.1</td>
<td>21</td>
<td>2,025.8</td>
<td>2,025.8</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>51.9</td>
<td>2,681.5</td>
<td>22</td>
<td>2,121.5</td>
<td>2,121.5</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>55.6</td>
<td>2,503.1</td>
<td>23</td>
<td>2,095.9</td>
<td>2,095.9</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>53.0</td>
<td>2,625.8</td>
<td>24</td>
<td>2,019.9</td>
<td>2,019.9</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>53.5</td>
<td>2,601.3</td>
<td>25</td>
<td>1,906.4</td>
<td>1,906.4</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>56.9</td>
<td>2,445.9</td>
<td>26</td>
<td>1,903.8</td>
<td>1,903.8</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>59.9</td>
<td>2,323.4</td>
<td>27</td>
<td>1,996.7</td>
<td>1,996.7</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>64.2</td>
<td>2,167.8</td>
<td>28</td>
<td>1,971.2</td>
<td>1,971.2</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>66.2</td>
<td>2,102.3</td>
<td>29</td>
<td>1,949.2</td>
<td>1,949.2</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>71.4</td>
<td>1,949.2</td>
<td>30</td>
<td>1,925.8</td>
<td>1,925.8</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>68.7</td>
<td>2,025.8</td>
<td>31</td>
<td>2,019.9</td>
<td>2,019.9</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>65.6</td>
<td>2,121.5</td>
<td>32</td>
<td>2,095.9</td>
<td>2,095.9</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>66.4</td>
<td>2,095.9</td>
<td>33</td>
<td>2,019.9</td>
<td>2,019.9</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>68.9</td>
<td>2,019.9</td>
<td>大正1</td>
<td>73.0</td>
<td>1,906.4</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>73.0</td>
<td>1,906.4</td>
<td>2</td>
<td>73.1</td>
<td>1,903.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>69.7</td>
<td>1,996.7</td>
<td>3</td>
<td>70.6</td>
<td>1,971.2</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>70.6</td>
<td>1,971.2</td>
<td>4</td>
<td>71.4</td>
<td>1,949.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>
(指数：昭和 3 〜 7 年 = 100、倍率：平成 23 年 = 1.000)

<table>
<thead>
<tr>
<th>年</th>
<th>指数</th>
<th>倍率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>昭和 29</td>
<td>31,627</td>
<td>4.457</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>31,579</td>
<td>4.464</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>33,189</td>
<td>4.247</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>35,232</td>
<td>4.001</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>34,675</td>
<td>4.065</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>35,728</td>
<td>3.945</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>37,771</td>
<td>3.732</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>40,743</td>
<td>3.460</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>42,229</td>
<td>3.338</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>44,087</td>
<td>3.197</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>46,068</td>
<td>3.060</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>48,236</td>
<td>2.922</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>50,759</td>
<td>2.777</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>53,579</td>
<td>2.631</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>56,547</td>
<td>2.493</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>59,219</td>
<td>2.380</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>61,814</td>
<td>2.280</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>65,310</td>
<td>2.158</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>68,965</td>
<td>2.044</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>77,705</td>
<td>1.814</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>93,754</td>
<td>1.504</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>100,587</td>
<td>1.401</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>108,532</td>
<td>1.299</td>
</tr>
<tr>
<td>52</td>
<td>115,842</td>
<td>1.217</td>
</tr>
<tr>
<td>53</td>
<td>121,245</td>
<td>1.163</td>
</tr>
<tr>
<td>54</td>
<td>124,582</td>
<td>1.131</td>
</tr>
<tr>
<td>55</td>
<td>127,985</td>
<td>1.101</td>
</tr>
<tr>
<td>56</td>
<td>133,637</td>
<td>1.055</td>
</tr>
<tr>
<td>57</td>
<td>136,462</td>
<td>1.033</td>
</tr>
<tr>
<td>58</td>
<td>139,620</td>
<td>1.010</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>144,108</td>
<td>0.978</td>
</tr>
<tr>
<td>60</td>
<td>147,433</td>
<td>0.956</td>
</tr>
<tr>
<td>61</td>
<td>149,926</td>
<td>0.940</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>年</th>
<th>指数</th>
<th>倍率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成 1</td>
<td>154,912</td>
<td>0.910</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>156,735</td>
<td>0.888</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>163,389</td>
<td>0.863</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>166,049</td>
<td>0.849</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>166,880</td>
<td>0.845</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>166,195</td>
<td>0.848</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>165,349</td>
<td>0.853</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>164,504</td>
<td>0.857</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>165,349</td>
<td>0.863</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>165,208</td>
<td>0.866</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>163,094</td>
<td>0.876</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>160,838</td>
<td>0.876</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>159,006</td>
<td>0.887</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>156,751</td>
<td>0.899</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>154,213</td>
<td>0.914</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>152,522</td>
<td>0.924</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>150,830</td>
<td>0.935</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>149,561</td>
<td>0.943</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>148,434</td>
<td>0.950</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>147,024</td>
<td>0.959</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>146,178</td>
<td>0.964</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>143,359</td>
<td>0.983</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>140,963</td>
<td>1.000</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>139,835</td>
<td>1.008</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>139,412</td>
<td>1.011</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>141,809</td>
<td>0.994</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>144,910</td>
<td>0.973</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>145,333</td>
<td>0.970</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>144,910</td>
<td>0.973</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>144,910</td>
<td>0.973</td>
</tr>
</tbody>
</table>

〈資料〉
1. 明治 11 年〜昭和 17 年「日本経済の成長率」(大川一司編)
2. 昭和 18 年〜30 年 「経済要覧」(内閣府)
3. 昭和 31 年以降 「国民所得統計年報」、「国民経済計算年報」(内閣府)

〈備考〉
1. 昭和 40 年以降は、新 SNA 方式に基づく係数である。
2. 平成 30 年の値は、推計値である。